

53

2017.01  
Tokai-Build



*B!-co*  
Build-communication



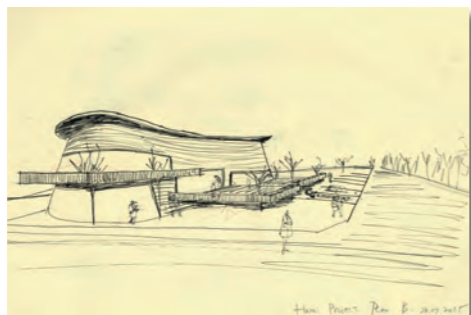
# オーヴァルテラス 〈緑区鳴海町〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社東海・ビルド

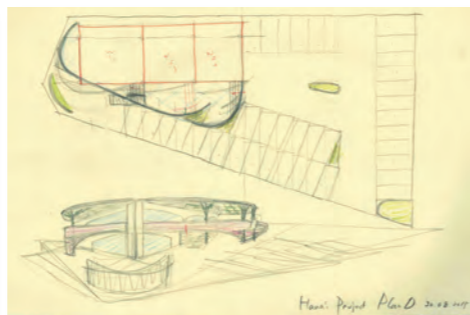
オーヴァルテラスは緑区に誕生した複合商業施設。  
熊野神社参道の樹々を借景としたテラスに集う。

## エスキース

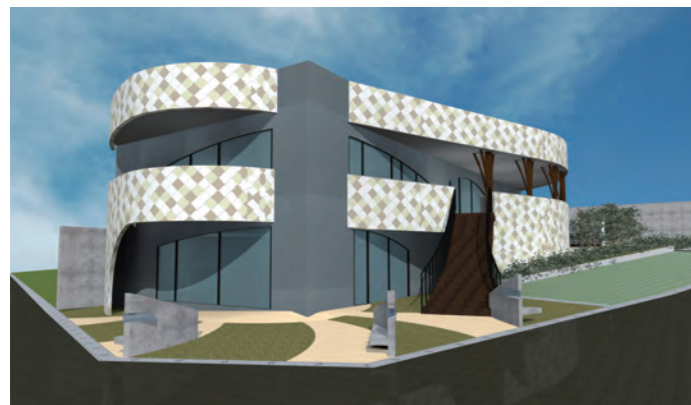
最初のイメージはスケッチブックに、施主様と一緒に買った小樽で購入したガラスペンで描いた。(スケッチ①)  
その後(スケッチ②)の形を経て、最終模型とCGが制作された。  
斜面を利用して、1・2階とも地面からアプローチが可能となった。



スケッチ①



スケッチ②



最終CGパース。



最終模型。

## リサーチ

施主様と東京のテラス巡りを敢行。代官山、表参道、六本木と東京でも最先端のデッキスペースを見学して、オーヴァルテラスのデッキスペースの構想を固めていった。  
浅草で宿泊し、ホテル屋上の屋外カフェから見た東京スカイツリーが忘れられない。  
円弧に囲まれたテラスと、木材デッキの階段やスロープのイメージが固まった。

左は六本木・東京ミッドタウン。  
右上はログロード代官山。  
右下は東急プラザ・表参道原宿店。



外壁をひたすら見つめる施主様。

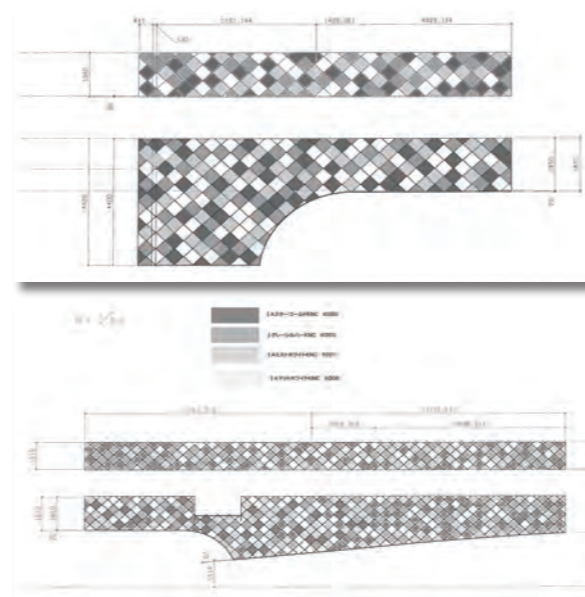


春華堂(浜松市)

曲面外壁を覆う材料として提案したのが、この菱形の金属板。  
浜松市に施工例があるとのことで、当然見に行くことに。  
どの部分が汚れやすいか、手を当てても怪我をしないか等、直接触れて観察できたことは大きな収穫であった。

## うろこの壁

見学した建物はピンクが基調の艶やかなものであったが、我々は渋めのアースカラー4色を使用する。  
各色均等量を発注して色の割り付けを開始。  
決まったパターンが出ないように、にじみのような色の塊が何となく出るように。自分が課したこの2点を実現すべく割り付ける。3度やってみて感覚が掴めたので4度目に作成したパターンでGOサインを出した。  
現場では職人が、完成したこの図面を直接壁に貼り、これらをにらみながら1枚ずつ施工していった。





ipadの画面に描いた鉄の樹のイメージ。

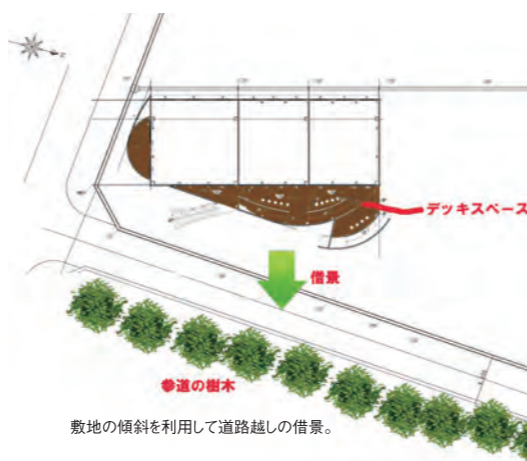


イメージに沿ってテープを貼ってみる。

## 鉄の樹

鉄骨柱を利用した樹木を考える。  
現場に実際にテープで枝のイメージを作ってみた。  
そして最後は奥の手。ipadで写真を撮ってそのままイメージを描き込む。

枝は幅広のスチールバーとすることで、見る角度によって細かったり太かったりと変化する。  
デッキスペースは楕円の円弧に囲まれる。  
ここから見る隣の神社の参道にある樹木を借景にしている。



敷地の傾斜を利用して道路越しの借景。



本物の樹木と鉄の樹。



デッキスペースとスロープ。



オーヴァルテラス、直訳すると「楕円の庭」。施主様ご夫妻の娘さんが名付け親。

## 店舗建築の概念を覆した「オーヴァルテラス」

その根源は施主様の地元「徳重」に対する強い気持ちにあります。  
通例、店舗建築では如何にお金をかけずに建築できるかを考えてしまいますが、この「オーヴァルテラス」は違います。  
“女性の集まる空間”をコンセプトに、オシャレなテナント様に出店して頂きたい。  
そのためには、ここに出店したいと思うようなデザインの建物を造らないといけない。  
部材から仕様まで一切の妥協をせず、信念を貫いてとことん拘った建物・・・  
それが緑区徳重に誕生した「オーヴァルテラス」です。

- 建物名 — オーヴァルテラス
- 所在地 — 緑区鳴海町
- 構造 — 鉄骨造2階建
- 面積 — 敷地面積/1,475.09㎡(446.21坪)  
建築面積/326.80㎡(98.85坪)  
延床面積/494.31㎡(149.52坪)



# おざきやまアトリエハウス 〈緑区鳴海町〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド

## 計画

今回のプロジェクトは、高低差のある敷地条件をどのように活かし、周辺環境に対しどれだけ配慮した計画が出来るかがポイントでした。

計画地には様々な諸条件がありました。

北側にはオーナー様所有の共同住宅があり、本プロジェクトによって入居者様の居住性が損なわれないようにすること、南側の敷地はご親戚の所有地で、将来は建物の建設予定があるということです。そういった中で当社が提案したプランが、敷地の高低差をそのまま活かしたスキップフロアの間取を含んだ木造平屋のテラスハウスでした。

屋根形状にもこだわり、アーチ状の屋根をリビングに架けることで室内に縦方向の広がりを生みだし、帖数以上の広さを感じられる工夫をしています。もちろん、上下方向の空間演出だけでなく、さらに各戸を平面的にも雁行させることで平屋ならではの水平方向に流れる独特の表情を造りだしました。



模型によるファサード検討。



建物を雁行させた配置計画。



スキップフロアの内部空間。

- 建物名 — おざきやまアトリエハウス
- 所在地 — 緑区鳴海町
- 構造 — 木造平屋建
- 面積 — 敷地面積/559.13㎡(169.13坪)  
施工面積/209.17㎡(63.27坪)

## オーナー様との出会い

オーナー様との出会いはさかのぼる事10年前。

畑で野菜のつくり方、収穫の仕方など世間話をしていました。

それから4年後に共同住宅2棟を建築させて頂いたのが始まりです。

その後、会社行事等含め、深いお付き合いをさせて頂き、今日に至ります。

そんな中、畑と月極駐車場の利用価値を高める為、今回のプロジェクトの話が上がりました。当社としても色々とお知恵を出し検討した結果、木造平屋のテラスハウス案が生まれました。

今では笑話ではありますが、お野菜の収穫時期、着工時期等、いつに設定するかをオーナー様と悩んだことも、良い思い出の一つです。



オーナー様が大切に耕作されてきた畑。



西面ファサード。左官の外壁とR屋根による動きのあるデザイン。



東面ファサード。西面とは全く異なる表情。

## 匠の技 左官工事(殿垣左官)

以前、BI-coで紹介させて頂いた当社保養所の高山町屋 惣四郎。

オーナー様にも当社の建築ツアーを通じて見学して頂いたところ、左官職人の殿垣氏と意気投合!

オーナー様の夢が膨らみ、左官の技を是非今回のプロジェクトに取り入れたいとなり、マンションの外壁や玄関に設けたニッチカウンターに取り入れました。

設計部長の森、オーナー様、殿垣氏とで打合せを行い、外壁は北から南へ風が吹き抜ける様をコテで表現し、ニッチは陶器と左官のコラボレーションで「風」を表現しています。



オーナー様、殿垣氏、設計部長・森による打合せ風景。



風の流れを意識したデザイン外壁。



玄関ニッチカウンターは陶器と左官のコラボレーション!

## 板金工事(田中鉄工) 匠の技

マンションサイン・号室サインも、外壁同様、高山町屋 惣四郎で出会った匠、田中鉄工様に依頼。

鉄を[打ち・叩き・削り]1枚の鉄板を造り、そこに『おざきやまアトリエハウス』と切り抜きをしてつくられた鉄板サイン。

号室サインも設計部長・森のデザインを元に、同様の工法にて製作して頂きました。



250mm×250mmの鉄板から作られた号室サイン。



1.3.5.7.8と、遊び心のある号室を採用。



マンション名を切り抜いた600mm×1200mmの鉄板サイン。



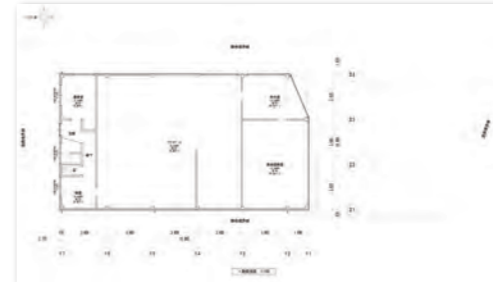
# HOUSE 68

〈津島市〉

設計：アーキビルド設計工房 施工：株式会社 東海・ビルド



外観(改修前)



1階平面図(改修前)

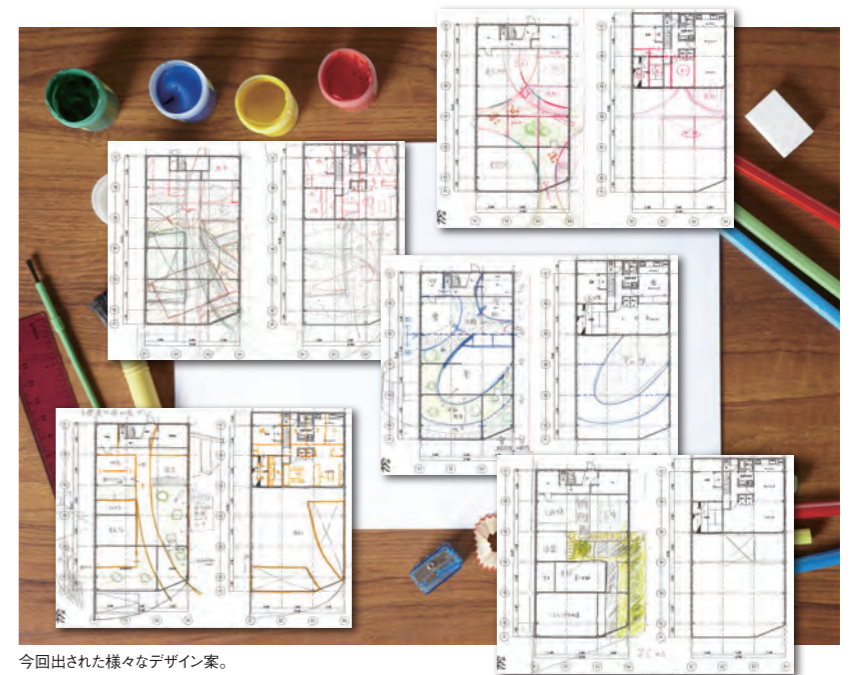


2階平面図(改修前)



## デザインレビュー

今回の計画を進めるに当たり、奥様が開校されている英会話教室「Story farm」と母屋の動線・デザインが大きなポイントになりました。そういった施主様の要望など条件が揃うと、設計部内で「デザインレビュー」を行います。設計担当者以外にも意見を聞き、様々な案を出してもらいます。すると、独りでは思いつかなかった案が……。さらに夢が広がり、設計部内の「戦い」がヒートアップしていきます。こうして施主様に提案するコンセプトやデザインを担当者がまとめ、ご説明させていただきます。



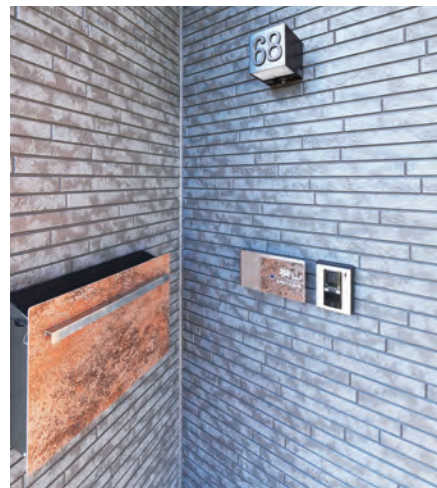
今回出された様々なデザイン案。

## 計画

鉄骨造のフルリフォーム！  
柱・梁はそのままに、残りは全てリフォームしました。元々は店舗として使用されていたため、断熱材が無い状態。「冬の生活は本当に厳しい環境でした。」と施主様。そのため、計画時の第一要望はもちろん「断熱」。まずは住環境を整え、次にご家族の要望を取り入れていきました。既存の柱・梁を利用するので制約もありましたが、その中で出来ることを施主様と一緒に考え、打合せを重ねていきました。完成後にお子さん達が楽しく遊んでいる写真を送って頂きましたが、ご両親の思いがお子さん達に届き、本当に嬉しく思いました。



リビングから見る、勉強スペースとキッチン。



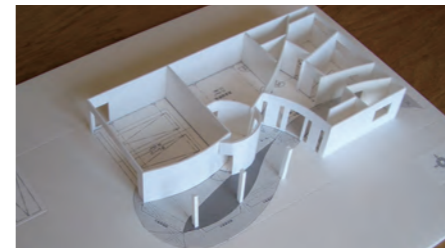
番地を玄関照明に取付。



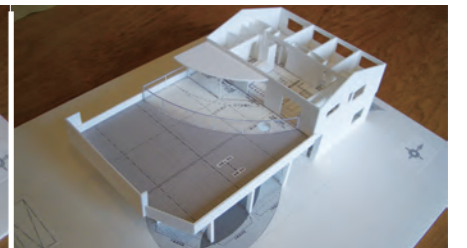
減築することによって生まれた中庭と「光」。

## 初期プラン

曲線を描いたアプローチ。  
外部空間から屋根下を通り、室内へとアクセス。1階の内壁はアプローチの曲線がそのまま延長し、壁を形成。



1階模型。



2階模型。



手前の英会話棟と奥の住宅イメージパース。



住宅棟・お子さん達のフリースペース。

## 中期プラン

建物の中央を減築し中庭を設けることで、英会話棟と住宅棟の二つに分かれ、それぞれのプライバシーを守りつつ住宅棟1階の採光を確保することができました。

## 最終プラン

中期プランの考えを守りながら間取を変更。お子さん達が並んで勉強できるスペースを設けました。子供部屋の大きさを確保するために、ロフトを作ることで広さと開放感を得ました。



LDK完成予想パース。



住宅棟から見る完成予想パース。

# 河合塾マナビス 東岡崎校

設計: 東海・ビルド一級建築士事務所 施工: 株式会社 東海・ビルド

名鉄東岡崎駅の北口から出てすぐのところに、岡崎市の都市景観賞を受賞している角金ビルがあります。外壁やガラスを曲面にしている外観が特徴的なビルです。

今回で5校目となる河合塾マナビスは、この特徴的なビルの1階に開校します。

65坪の面積にゆったりしたオープンスペース、休憩スペース、78席のブース室、個室となっている面談室、17席の受講室が入ります。天井高さは3m以上あり、天井の照明は人の動線に沿うようにライン状に配置しました。とても開放的で気持ちのよい学習塾が出来上がりました。



オープンスペース



ブース室



体験スペース



Before



Before



**河合塾マナビス 東岡崎校**  
岡崎市明大寺本町3-17 角金ビル1階  
(名鉄名古屋本線・東岡崎駅徒歩3分)  
TEL.0564-73-1111

～飛騨伝統の障子を引くと現れる匠の間の神髄～  
コンセプトハウス・憧懐舎1970に加わった新世界

## 飛騨 匠の間

憧懐舎1970に新たに誕生した「飛騨 匠の間」。  
是非実際にご覧頂きたく、BI-co誌上体験を通してご紹介致します。



憧懐舎広間から階段を下ります。  
正面には田中铁工が打った花受けを吊っています。  
障子の上の壁が光っているのは長押しに仕込んだLED照明。  
左の飛騨伝統の障子を開けると、そこが「飛騨 匠の間」。  
早速入ってみましょう。

右には飛騨の建具を集めています。  
引き出して頂ければいろいろな建具と出会えます。  
正面の上部は古材の梁。  
木部は7工程を重ねる「古色塗装」で仕上げられています。



左の壁、5枚の板は古色塗装の色見本。  
その右の黒い壁は左官で仕上げた花吹雪。  
小物が載る棚は田中铁工が打っています。

正面の障子を開けてみます。



左官の技の集積です。  
この右には洞床も鎮座しています。



施工  
左 官: 殿垣左官-高山市  
建 具: (有)大森-高山市  
塗 装: まえだ塗装(株)-高山市  
鉄細工: (有)田中铁工所-高山市

### 高山市景観デザイン奨励賞受賞!

「高山町屋 惣四郎」は  
高山市の景観に  
ふさわしい建築物として、  
平成28年度の  
高山市景観デザイン奨励賞を  
受賞致しました。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別なご高配を賜り、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。  
おかげさまで平成28年7月をもちまして当社は設立20周年を迎えることができました。

まず、お客様をはじめ、関係者各位の皆様、そして今日まで当社の施工品質を支えて頂いている協力会社の皆様へ心より感謝申し上げます。  
昨年は新たな試みとして、岐阜県高山市上一之町にある古民家を取得し、飛騨の匠の皆様と一緒に社員・お客様・協力業者様の保養所として建築しました。

この古民家改修を通じて得た飛騨匠の技術や思想を取り入れ、更に進化することでお客様により一層の満足、感動を与えられる企業を目指してまいります。

本年も変わらぬお引き立ての程、宜しく願い致します。  
皆様の益々のご健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役 大上 功



2017年、東海・ビルド 始動

2/10(金)・11(土)・12(日) マンション見学会開催



新年明けましておめでとうございます。  
振り返れば、昨年は様々な出来事が起こった1年でした。  
暗いニュースがある中で、日本シリーズでは広島黒田投手がカーブ愛を貫き、男気と勇気と感動を与えてくれました。  
またリオオリンピックでは過去最多の41個のメダルを獲得し、日本中が熱狂に包まれました。  
そんな中、弊社も昨年7月に設立20周年を迎えることができました。  
これもひとえに皆様の支えあつてのことと思います。誠に有難うございました。  
今後25周年、30周年を目指す上で大事な第一歩を刻む本年、皆様とこれまで以上にコミュニケーションを図り、より一層の満足、感動を与えられる建物を提供し、企業として成長、飛躍の年にしたいと思っております。  
今後とも東海・ビルドを宜しく願い致します。

TOKAI-BUILD NEWS 「B!-co」編集部



株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特27)第49209号 宅地建物取引業 知事(4)第18792号  
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店  
〒465-0008 名古屋市東区猪子石原一丁目1307番地

☎ 052-772-9100 (代)

http://www.tokai-build.com  
E-mail eigy@tokai-build.com  
blog tokai-build.blog.ocn.ne.jp

東海・ビルド | 検索